

## インフルエンザ(2026年第7週)疫学情報

### 《コメント》

2026年第7週の定点当たり報告数は41.44(患者報告数157,713)となり、前週の定点当たり報告数43.34よりも減少した。都道府県別では大分県(64.43)、埼玉県(62.60)、鹿児島県(62.12)、愛媛県(59.78)、千葉県(54.89)、熊本県(53.50)、長崎県(52.25)、宮崎県(51.46)、福島県(51.44)、栃木県(49.70)、神奈川県(49.55)、福岡県(49.52)、宮城県(49.47)の順となった。全国47都道府県中、24都道府県では前週の報告数よりも増加し、23都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は973例であり、前週(834例)から増加した。47都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(43例)、1～4歳(149例)、5～9歳(273例)、10代(160例)、20代(21例)、30代(41例)、40代(34例)、50代(29例)、60代(31例)、70代(84例)、80歳以上(108例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、直近5週間(2026年第3週～2026年第7週)では、B型が209件(65%)、AH3亜型が111件(34%)、AH1pdm09が2件(1%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://idw-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。